

# 日本共産党根室管内地方議員団 根室振興局への要望会実施

日本共産党根室管内地方議員団は2日、根室管内それぞれの地域の住民要望のうち北海道政にかかわるものをまとめ、北海道根室振興局に提出し、要望会を行いました。



振興局地域政策課長に要望書を手渡す中村団長（右から2人目）

日本共産党根室管内地方議員団とは、根室市議団の鈴木一彦、橋本竜一の両議員と、4月の統一地方選挙で再選された別

海町の中村忠士議員、初当選された標津町の数間景子議員で構成され、団長は中村議員、副団長は鈴木議員です。

要望項目は、管内共通要望事項と根室市要望事項です。

- 管内共通要望事項は、
- 1. 農業・酪農業の保護・育成について
- 2. 水産業対策について
- 3. 「北方領土」に関する問題について
- 4. 矢臼別演習場について
- 5. 教育について
- 6. 地域医療の確保について
- 7. 水道施設整備に対する国の補助制度の拡充
- 8. 海岸線の保全

以上、3つの大項目です。このうち共通要望事項の2. 水産業対策について3. 「北方領土」に関する問題についてと市要望事項の主な要望項目(○)と振興局の回答(●)をご紹介します。

水産業対策について  
○燃油高騰に対する支援

策の拡充を図ること。  
●漁業においては、支出に占める燃油等の割合が高く、燃油価格高騰は経営の安定に大きな影響を与えることから、漁業経営の安定化を図るためには、「漁業経営セーフティネット構築事業」における国の負担割合の拡大や、漁業用ガソリンの免税措置の導入を含む石油

の免税・還付措置の恒久化について、漁業関係団体等と連携して、国に要望していく。

「北方領土」に関する問題について  
○隣接地域の振興対策について、北海道が主体となつて隣接地域と綿密な協議・連携を図りながら、新たな「一括交付金」制度創設など、長期的な視点での地域財源確保対策を確立するよう国に求めること。

●平成30年の北特法の改正附則において「交付金に関する制度の整備その他必要な財政上の措置について検討を加える」と

規定されたことから、道としては、隣接地域や関係団体の考え方が制度の検討に反映されるよう、引き続き、隣接地域などと十分に協議を重ねながら国に要望していく。

根室市要望事項・北方原生花園の駐車場トイレの修繕を行うこと  
○この数年、簡易トイレでの対応となっている。多くの観光客が訪れる場所でもあり、早急に対策を講じていただきたい。

●道が管理する道道根室半島線北方原生花園パーキング施設は平成13年度に整備したもの。令和3年9月30日施設内の公衆トイレが排水管の腐食により使用不可能となつた。その後、簡易トイレ(快適トイレ)を設置して対応してきたところ。引き続き適切な対応について検討していく。

その他の要望項目と回答については党市議にお問い合わせてください。また、近日中に市議団のHPでも公開予定です。